



1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

「力を伸ばす『市立浦和』(楽しい進学校)

中高一貫教育の特性を生かした特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもった生徒を育成する。

- (1) 基礎・基本の確実な習得とともに、応用力、判断力、創造力を育む、「市立浦和」に相応しい質の高い学習活動を推進する。
 - 主体的・対話的で深い学びやさいたまSTEAMS教育の視点を取り入れた授業を展開し、基礎学力の定着と学ぶ楽しさとわかる喜びを味わう経験の積み重ねによる、学習意欲の向上と自己学習力の育成
 - 「各教科等の授業状況」「教育課程の編成・実施」「課題の在り方・取り組ませ方の工夫」「高校生との連携」
 - 「よい授業」アンケートによる授業評価、学校評価や自己評価を生かした授業改善
 - 「自己評価、学校関係者評価の実施状況」「教職員の意欲・資質及びその向上に向けた取組状況」
- (2) 基本的な生活習慣を身に付け、「豊かな心」と「健康な体」のバランスの取れた生徒を育成する。
 - 新型コロナウイルス感染症防止対策を柱とする生徒の健康管理、生活安全にかかる生徒の自己管理能力の向上
 - 「安全教育の状況」「保健管理の状況」「保健教育の状況」
 - 中高6年間を見通した計画的、組織的、継続的な生き方指導と高校卒業後の自分を見つめる自己理解の充実
 - 「高校教員による乗り入れ授業」「進路指導・キャリア教育の状況」
 - いじめ・不登校防止等のための指導体制の充実と生徒の豊かな心の育成と一人ひとりの心のケアの充実
 - 「生徒指導・いじめ防止等生徒の状況」「各種教育相談の状況」「不登校生徒への支援状況」
- (3) 体験活動を重視し、日本文化を大切にするとともに豊かな国際感覚と広い視野をもった生徒を育成する。
 - 様々な体験活動を効果的に取り入れた教育課程の実施、生徒と向きあう時間の確保
 - 「学教行事実施に向けた取組」、「各教科等の授業の状況」「教育課程の編成・実施」「ノー残業デー推進」

2 評価結果について

- (1) 4月と9月の2回実施した「中高一貫校向け学力推移調査」結果によると、本校生徒は全学年で概ね基礎基本の定着が図られていることが分かる。また「よい授業」や学校評価のアンケート結果から、特にICT機器を活用した授業を各教科等で数多く展開している教職員の授業力は市の平均を上回るとともに、97%の生徒が浦和中の授業に対して好意的な回答を寄せた。また、さいたまSTEAMS教育研究委嘱校として、来年度も引き続き生徒が学習に主体的に取り組み、自ら課題を発見、解決していく力を育成する授業実践を研究していく。
- (2) さわやか相談員やスクールカウンセラー、家庭と連携を図りながら、生徒指導や教育相談に教職員が概ね組織的に取り組んでいると、生徒、保護者そして教職員による評価から見て取れる。教職員の丁寧な対応の結果、今年度いじめの認知件数が0で、不登校生徒数も最小限となっている。「心と生活のアンケート」やカウンセリングウィークでの二者面談の結果、学習や友人関係等について、継続した心のケアを必要とする生徒もいることがわかり、引き続き、さわやか相談室や教職員間の連携によるきめ細かな支援を継続していく。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3年生海外フィールドワークはやむを得ず中止としたが、2年生修学旅行を12月、3年生修学旅行と1年館岩自然の教室を7月に実施出来た。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた対応を行い、生徒の安心安全を第一と考えながら、各種学校行事の実施を模索したい。また、教職員の生徒と向き合う時間の確保、教職員の心身の健康増進を目指し、ノー残業デーの広報を強化し推進した。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- (1) 自己学習力育成の強化、生徒学力の一層の向上 新たな学び（「知学考行」・「問い」に皆で応える学び）の創造
 - 生徒主体の選択制課題の設定、家庭学習時間の確保、学校地域連携コーディネーターを活用した“Let's Study Week”での自習室設置（今年度試行）、「学び合う」授業の展開 [学習方法の工夫改善]、夏期講習での内部進学高校生による学習サポート（今年度試行）[中高連携]、STEAMSタイム及びSDGsの推進 [新たな学び] を本格実施することで、引き続き主体的に学習する意欲をもつ生徒の育成を図る。学習状況に課題がみられる生徒へは、学習意欲や能力の個人差に応じた個別指導の充実を図り、生徒一人ひとりの学習内容定着と苦手分野克服に資する。
 - VUCAの時代を「自ら考え、生きる」生き方まで含めた全教育活動を通じた進路指導の充実、(特に高校卒業後の大学進学を視野に入れた) 生徒の夢と高い志を育み、その実現に向けた学習指導とキャリア教育の一層の充実を図る。
- (2) 一人ひとりに最適なサポートの一層の充実
 - 今年度から中高共通で年3回全校一斉実施（5月、7月、11月）したカウンセリングウィークを軸として、生徒や保護者との管理職、各職員、養護教諭、さわやか相談員とスクールカウンセラーとの連携を密にして、一人ひとりに最適なサポートを、保護者の理解も得ながら組織的かつ継続的に行う。
 - 定例の生徒指導・教育相談連絡部会を中心に、さわやか相談室や専門機関と連携しながら、生活習慣や不登校等課題をもつ生徒への複数のチャンネルを活用した細やかな指導を継続する。
 - 様々な体験活動を取り入れた諸活動（学校行事、生徒会活動、部活動、学級活動等）の一層の充実により、生徒同士の温かな人間関係づくりと豊かな心の育成に努める。